

2020年3月31日  
 株式会社ダイワコーポレーション

## 人材難の物流業界 人事部門を悩ませる“新卒入社3年の壁” 定着率91% 秘訣は「とことん会社理解を深める」 採用に若手社員も積極参加 社員数50名から150名に増加

東京湾岸エリアを中心に物流サービスを提供する株式会社ダイワコーポレーション（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：曾根和光）は、この20年間で社員数が3倍に増加しています。採用難といわれる中、好調の秘訣の一つに入社3年後の定着率91%という高さがあります。

厚生労働省が2018年に発表した調査によると、高卒者の39.3%、大卒者の31.8%が卒業後3年以内に離職しているとのこと。物流業界ではさらにその割合は高く、40%程度にのぼるといわれています。

当社では2001年に本格的に新卒採用をスタートしました。当初は業界平均以上の77.8%という離職率の年もありましたが、さまざまな取り組みの結果、直近の大卒・高卒入社3年以内の離職率は8.9%、定着率は91.1%にまで改善されました。

### 【入社3年以内の当社定着率】

#### ◆大卒採用◆

| 入社年度 | 入社数 | 在籍数 | 各年離職率 |
|------|-----|-----|-------|
| 2015 | 4   | 3   | 25%   |
| 2016 | 6   | 4   | 33.3% |
| 2017 | 4   | 4   | 0%    |
| 2018 | 6   | 6   | 0%    |
| 2019 | 9   | 9   | 0%    |
| 合計   | 29  | 26  | 10.3% |

=定着率89.7%

#### ◆高卒採用◆

| 入社年度 | 入社数 | 在籍数 | 各年離職率 |
|------|-----|-----|-------|
| 2017 | 2   | 1   | 50%   |
| 2018 | 7   | 7   | 0%    |
| 2019 | 7   | 7   | 0%    |
| 合計   | 16  | 15  | 6.2%  |

=定着率93.8%

高卒・大卒合計定着率：91.1%

### 【取組① 若手社員が会社の最重要業務「採用」を担う】

当社では採用活動を会社の最重要業務の一つと位置付けています。2016年卒採用より、入社3年目までの若手社員が中心となって新卒採用業務を行うプロジェクトを行っています。

目的は「企業として重要な採用活動に若手社員がチームで一から取り組むことで、自信と誇りを持ち、即戦力となる人材へ成長する」こと。プロジェクトに参加することで、年齢が若いうちから責任感やチーム力を養うことができます。また、主に会社説明会を主導しているため、会社に対する理解が深まり若手社員の会社への帰属意識が高まります。そのほかにも当社の特長の一つとして「社員同士の絆が強い」ことが挙げられます。全員が集まるキックオフミーティングをはじめ、チーム



◆チームミーティングの様子

ごとに月1回以上集まるため、営業所という狭いコミュニティに閉じこもることなく縦横のコミュニケーションを図ることができます。また、プロジェクト経験者の先輩社員も多く在籍し、会社説明会では営業所所長などにも参加を依頼するため、多くの社員と関わることで強い絆が作られます。

## 【取組② 社員はもちろん、社長とも。採用時から時間をかけてコミュニケーションを図る】

当社では採用の際に学生と社員が触れ合う時間を多く作っており、大卒採用ではインターンから内定までの期間に最高で 5 回人事部門以外の社員と交流する時間を設けています。例えば、インターンや会社説明会で取り入れているグループワークに若手社員も必ず一人入ったり、倉庫見学を行い実際に現場で活躍している社員を間近で見ることができるなど、会社や業務への理解を深めてもらうだけでなく、入社後にどんな人と一緒に働き、どんな環境で勤務をするのかのイメージをわかりやすくしています。

また、採用のプロセスで交流を持つことができるのは社員だけではなく、代表取締役社長の曾根も積極的に交流を持つ機会を設けています。

会社説明会には毎回必ず曾根も参加し、質疑応答の時間を設けています。また最終面接も曾根が担当します。

当社ではこのように人事部門以外の社員と直接関わりじっくり話をする機会を採用の段階で多く取り、会社、社員、働く環境、社長をよく理解してもらうことにより、相互のミスマッチが起きにくくなりました。

※2021 年卒大卒採用に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会社説明会を中止いたします。今回の決断は当社にとって苦渋の決断ではありますが、今後の採用活動については施策を継続して検討してまいります。



▲ 社長座談会の様子

## 【取組③ 入社後は営業所などの枠を超えて社員の情報共有】

現在、当社は関東に 25 の拠点があります。営業所が異なると社員同士が関わる機会はありませんが、枠を超えて交流できるような施策や、会社を理解する研修やイベントなどを積極的に開催しています。例えば若手社員の意向で、曾根が会社の歴史を語る時間を設けたり、中途社員を対象に会社や社員、各事業部の業務を学ぶ研修を行うなど、社員同士や会社への理解を深めてもらう研修を設けています。また社内報の年 2 回発行での情報共有や、年に 1 回社員旅行・忘年会を開催するなど、社員同士の交流の機会も設けています。



▲ 若手社員研修会の様子

### 社員の感想

- 若い方の活躍や先輩社員の姿から学べることが多く、尊敬できる方の近くで働けることやその中で挑戦し続けられることはとても恵まれている環境だと思う。
- 物流は泥臭い地味で汚い仕事だと思っていたが、こういった倉庫会社があることで世の中の人たちの生活が成り立っていることが如実に感じられ、自分の仕事に誇りを持てるようになった。人格者であり仕事面においてもすごいと感じ、尊敬できる人が社長であることを友だちに自慢できる。
- 社員、パートを問わず話しやすい人がたくさんいるのでリラックスして仕事ができる。
- 社風、働いている方々の活気あふれる姿や雰囲気を感じて自分もこのような環境で仕事がしたいと思い入社した。



▲ 社内報は 7 月・1 月の年 2 回発行

## ■ 物流業界の「3K」イメージを変えていく

当社では物流業界の「3K」のイメージを覆すため、「どんな立場でも同じ目線で仕事をしている」という意識を持つこと、そのために役職・年齢に関わらず命令口調や友だち口調も禁止にするなどの施策を行っています。また男性社会だと思われがちな業界では珍しく女性社員の比率が 30%を超えるなど、業界の地位の向上に貢献。

今後も、「お客様の願いを共に実現する物流 CREATOR」としてサービス、品質の向上を図ってまいります。

### 【ダイワコーポレーション 会社概要】

株式会社ダイワコーポレーションは、東京湾岸エリアを中心に倉庫を 25 拠点構える物流会社で、昨年で創業 68 年を迎えました。「人とモノの真ん中に」を企業理念に、ダイワコーポレーションは、人を、モノを、つなぐことで、あらゆるモノの流れを生み出し、人々の豊かな生活を支えます。世の中の動きやつながりの真ん中に存在することで、常にお客様の要望にお応えし、また新たな価値を生み出します。

会社名： 株式会社ダイワコーポレーション  
代表： 代表取締役社長 曾根 和光  
本社： 東京都品川区南大井六丁目 17 番 14 号  
電話： 03-3763-4511（代表）  
ホームページ： <http://www.daiwacorporation.co.jp/>  
設立： 1951 年 10 月  
資本金： 90,000 千円  
事業内容： 普通倉庫業、倉庫施設等の賃貸業、ビル賃貸業、自動車運送取扱事業、  
損害保険取扱業、不動産業、輸出入貨物取扱業、宅地建物取引業

<報道関係者お問い合わせ先>

ダイワコーポレーション広報事務局

担当：桶川（070-1639-9794）

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 メール：pr@netamoto.co.jp